

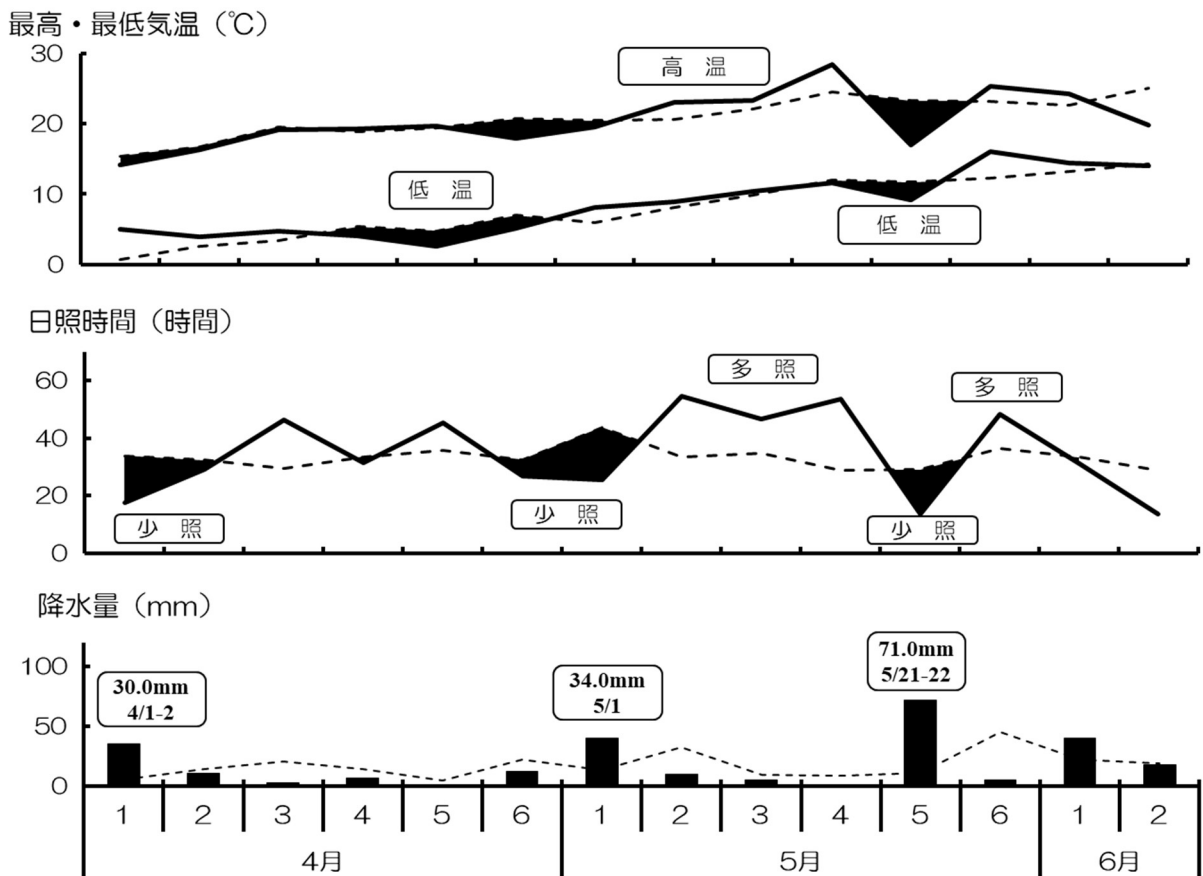
今後の管理のポイント

- 中干し前までは、浅水管理や間たん灌水を行いましょ。中干しは有効茎数に達したら行いましょ。 ※生育の遅れているほ場では浅水管理を励行しましょ。
- 残草がある場合には、使用時期等の登録内容と「使用上の注意事項」を確認して、中後期剤による追加防除を行いましょ。
- 補植用苗は速やかに処分し、いもち病の発生を抑えましょ。いもち病の早期発見・早期防除に努めましょ。

1 気象経過（前5か年平均との比較）

- 気温は、4月中旬から下旬は低温、5月から徐々に気温が上がり中旬まで高温、5月第4半旬から第5半旬にかけて低温、直近は平年並みと周期的に変化しました。4月第1半旬、5月第1半旬・第5半旬にまとまった降雨がありましたが、4月第2半旬から第5半旬、5月中旬は少雨・多照の傾向が続きました。

図1 4月～6月第2半旬の気象（古川アメダス）



※実線・棒グラフは本年の値、点線は前5か年の平均値

2 生育概況（6月10日現在）

- 5月下旬の低温・少照の影響により一部のほ場で生育が停滞気味です。移植ほ場の平均では、草丈は平年をやや上回り、葉色は平年をやや下回りました。茎数は平年比94%を下回りました。茎数は、地域や品種、移植時期等によって、ほ場間差が大きくなっています。
- 乾田直播栽培の茎数は、平年並みか平年を上回っており、順調に生育しています。

表1 生育調査結果

栽培様式	品種名	地区名	前作	田植日 播種日 (平年・前年差)	5月29日	6月10日		
					植付本数/㎡ 苗立数/㎡ (平年・前年比)	茎数 本/㎡ (平年・前年比)	草丈 cm (平年・前年比)	葉色 GM (平年・前年差)
移植	ひとめぼれ	大崎市三本木	水稻	5月5日 (+1)	69 (86%)	222 (77%)	28.5 (106%)	40.8 (-3.2)
	ササニシキ	大崎市古川	水稻	5月10日 (+3)	71 (104%)	163 (110%)	29.2 (101%)	36.5 (+0.5)
	平均			5月7日 (+2)	70 (95%)	193 (94%)	28.9 (104%)	38.7 (-1)
乾田 直播	ササニシキ	大崎市古川	水稻	4月8日 (-20)	86 (77%)	199 (121%)	24.3 (180%)	36.0 -
		大崎市三本木	水稻	4月13日	58	101	21.5	35.9
	平均			4月10日	72	150	22.9	36.0

※平年比・差は前5か年（令和3～7年）の平均値との比較。

3 今後の管理

1) 水管理 浅水管理・間断かん水の実施

水管理は稲の生育を調整し、その後の収量・品質に影響する重要な管理です。天候や生育状況に応じて、適切な水管理を行いましょう。

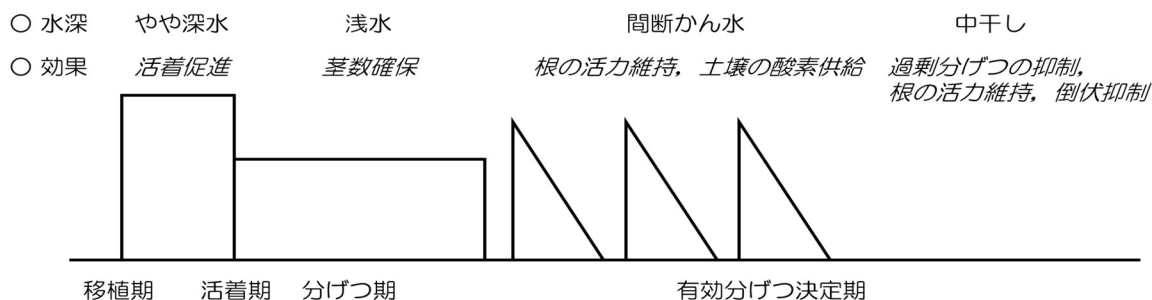
- ✓ 生育回復の遅れているほ場では浅水管理により、分けつの発生を促しましょう。
- ✓ 根の活力維持のため、間断かん水と中干しを行いましょう。中干しは目標茎数に達したら実施します。生育状況をよく確認の上、実施しましょう。

＜目標茎数（＝穂数）の目安＞

ひとめぼれ 410本～460本/㎡
 ササニシキ 480本～510本/㎡
 だて正夢 360本～400本/㎡
 つや姫 400本～440本/㎡

グレーンドリル鎮圧方式乾田直播※
 ササニシキ 420本～460本/㎡
 (7/15茎数 590本～640本/㎡)
 ※普及に移す技術第99号参考資料より

＜水管理のイメージ（移植栽培）＞



2) 雑草防除 散布適期を見極め除草剤散布

雑草は稲の養分を奪うだけでなく、カメムシ類等の害虫を呼び寄せの原因となります。繁殖力が高い雑草種もあるため、適切な雑草防除に努めましょう。

- ✓ 初中期一発剤を散布したほ場で残草が見られる場合は、中期剤・後期剤を散布しましょう。※散布時は雑草の種類・葉齢、稲の葉齢を確認しましょう。
- ✓ 使用方法が「湛水散布」の除草剤は、田面が露出した状態だと除草剤効果の低下につながります。除草剤の散布時は畦畔からの漏水がないかを確認し、十分に水を張りましょう。
- ✓ 直播栽培で使用できるのは「直播水稻」又は「水稻」に適用のある除草剤に限られます。
- ✓ 水田内のノビエやイヌホタルイ等の雑草は、カメムシ類を水田に呼び寄せ、斑点米被害の原因となるので、雑草防除を徹底しましょう。



図2 イヌホタルイとカメムシ発生について

～ ノビエ以外の雑草防除を行う際の注意点～

水田除草剤のラベルは「移植後5日～ノビエ 2.5 葉期」のように使用時期が記載されており、ノビエ以外の雑草種への使用時期は「使用上の注意事項」に記載されている場合があります。「使用上の注意事項」をよく読み、散布晩限に達する前に散布しましょう。

3) いもち病防除 補植用苗は速やかに処分

- ✓ 補植用苗（残苗）は本田でのいもち病発生の原因になります。補植作業が終了したら速やかに処分しましょう。
- ✓ 残苗でいもち病を確認した場合、周辺の稲で発生していないか確認しましょう。
- ✓ 乾田直播栽培などで箱施用剤を施用していない場合は、水面施用剤を散布しましょう。

◆◆◆◆◆農薬危害防止運動実施中（6月1日～8月31日）◆◆◆◆◆

6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底しましょう。

運動のテーマ 「使用前、周囲よく見て ラベル見て」

東北地方 1 か月予報
(6月13日から7月12日までの天候見通し)

令和8年6月11日

仙台管区气象台 発表※抜粋

<予報のポイント>

暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。
前線や湿った空気の影響を受けやすいため、向こう1か月の降水量は平年並が多いでしょう。

<向こう1か月の天候>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

<向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間の階級別出現確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【平均気温】	東北地方太平洋側	20	30	50
【降水量】	東北地方太平洋側	20	40	40
【日照時間】	東北地方太平洋側	30	40	30

<週別の平均気温の階級別出現確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方太平洋側	20	40	40
2 週 目	東北地方太平洋側	20	40	40
3~4週目	東北地方太平洋側	20	30	50

「大崎地域の稲作技術情報」、「大崎地域の大豆作技術情報」、「大崎地域の麦作技術情報」は、当普及センターのホームページでもご覧いただけます。インターネットで「大崎農業改良普及センター」と検索または右のQRコードを読み取ってください。

